

みなかみ シェアサイクル

令和6年度 実証実験 最終報告

みなかみ町 企画課 企画調整係

令和6年12月



1 実証実験概要

1-1 実証実験の目的

- (1) 水上温泉街周辺において、観光客や地域住民の交通手段を確保し、回遊性と満足度を高める。
- (2) 実証実験として利用状況等を把握し、シェアサイクル導入の可能性を調査する。

1-2 実施体制

- (1) 実施主体：みなかみ町
- (2) 運営会社：ecobike株式会社



1-3 概要

- (1) 実施エリア：水上温泉街周辺
- (2) ポート：
 - ・JR水上駅
 - ・源泉湯の宿 松乃井
 - ・みなかみホテルジュラク
 - ・ふれあい交流館
 - ・道の駅 みなかみ水紀行館
 - ・坐山みなかみ
- (3) 自転車(電動アシスト付き自転車)：32台
- (4) ラック数：64台分
- (5) 利用方法：
 - 専用アプリを利用し、貸出・返却および決済を行う。
- (6) 調査期間：令和6年4月1日(月)~11月30日(土)
- (7) 料金：
 - ①15分につき100円、8時間上限2,000円
 - ②月額プラン500円(30分以降15分につき100円)

1 実証実験概要(MAP)

JR水上駅前

水上温泉の玄関口。駅前には、土産品店や飲食店などの商店が軒を連ねます。近くにはSL駐車場があり、SL到着後に方向転換する田舎風景や整備作業の様子を間近に見学することができます。



水上温泉街

水上駅から約1km南側にある温泉街。名湯を楽しむホテルや旅館はもちろん、地元産の農産物を使ったメニューを楽しむレストランや居酒屋など、個性豊かなお店がたくさん集まっています。



道の駅みなかみ水紀行館

地元産の農産物を販売する直売所や、利根川水系の混水魚を展示する小さな水族館、クライング施設や足湯などを備えた道の駅。隣接する清流公園では水遊びが楽しめるなど、家族で自然を満喫できるスポットです。



湯原エリア



250m

ecobike ポート設置場所

P1 JR水上駅
群馬県利根郡みなかみ町 鹿野沢

サイクルラック数	営業時間
16台	24時間



P2 温泉湯の宿 松乃井
群馬県利根郡みなかみ町 湯原551
※ホテル宿泊者以外もご利用いただけます

サイクルラック数	営業時間
10台	24時間



P3 みなかみホテルジュラク
群馬県利根郡みなかみ町 湯原665
※ホテル宿泊者以外もご利用いただけます

サイクルラック数	営業時間
10台	24時間



P4 ふれあい交流館
群馬県利根郡みなかみ町 湯原801

サイクルラック数	営業時間
8台	24時間



P5 道の駅みなかみ水紀行館
群馬県利根郡みなかみ町 湯原1681-1

サイクルラック数	営業時間
12台	24時間



P6 坐山みなかみ
群馬県利根郡みなかみ町 小日向573
※ホテル宿泊者以外もご利用いただけます

サイクルラック数	営業時間
8台	24時間



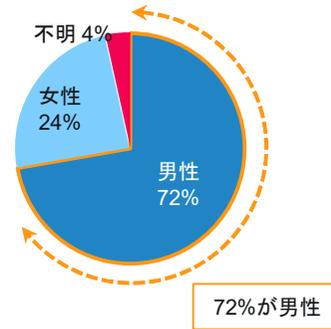
※記載と異なる場合があります。最新の情報はアプリ又は公式ホームページをご確認ください。

2 利用状況

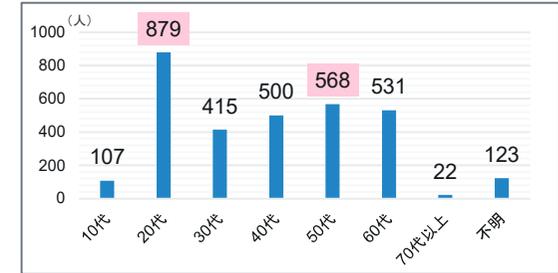
2-1 利用状況（全体像）

実証実験期間（令和6年4月1日～11月30日の244日間）の利用回数は合計3,145回であった。利用者を男女別で見ると、男性が72%を占めている。また、年齢別の利用回数では20代の利用者が1番多く、次いで50代の利用者が多かった。日別利用回数では15回以上の利用があった日数は86日間で、うち休日が43日間であった。また、平均利用時間は38分02秒であり、他自治体（31分4秒）と比べて利用時間が長い傾向にある。

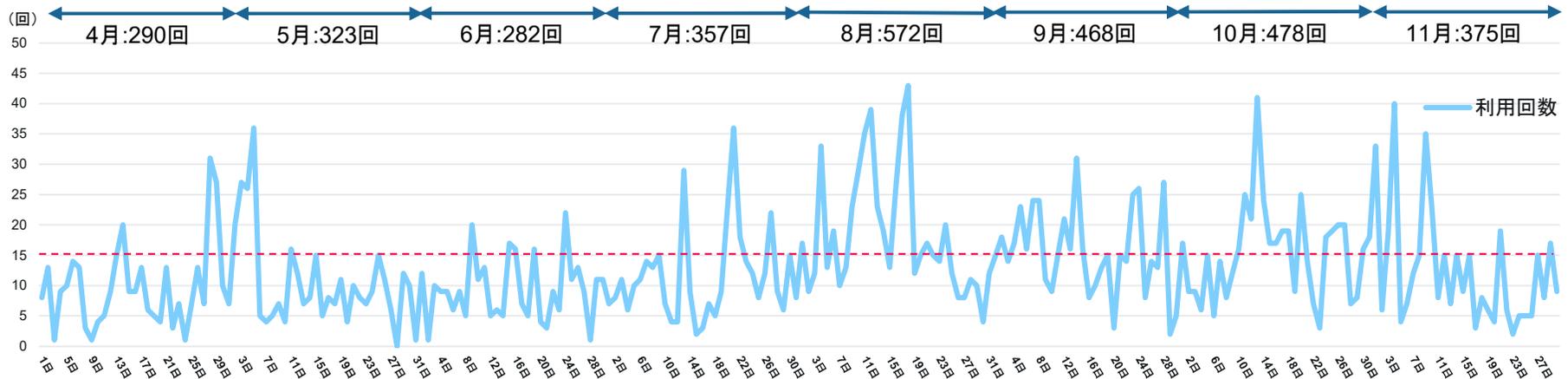
利用者の性別



年齢別利用者数



日別合計 利用回数



2 利用状況

2-2 平日・休日別利用状況

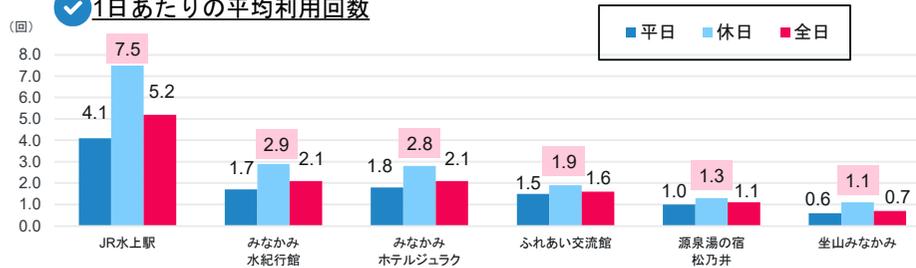
利用実績を日別にみると、平日に比べて休日の平均利用回数が多い結果となった。

さらにサイクルポート別では、「JR水上駅」の休日の平均利用回数は平日の約1.8倍、「みなかみ水紀行館」では約1.7倍であった。併せて、全ポートで休日の平均利用回数が平日を上回っていることから、観光を目的に利用が伸びていると推測される。

平日・休日別 1日あたりの利用回数

	日数 (日)	総利用回数 (回)	日平均利用回数 (回/日)	回転数 (回/台・日)
平日	165	1,761	10.7	0.33
休日	79	1,384	17.5	0.55
全日	244	3,145	12.9	0.40

1日あたりの平均利用回数

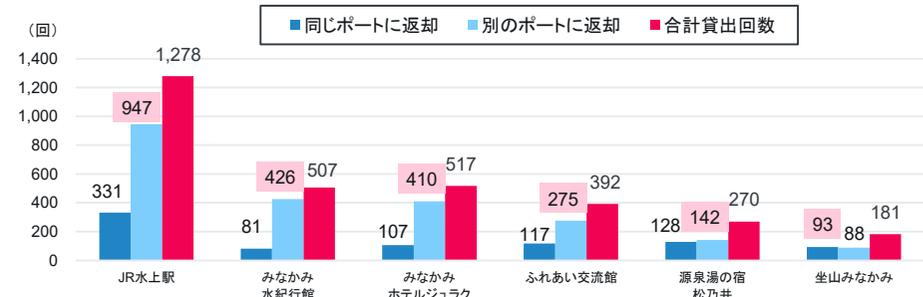


2-3 エリア別利用回数

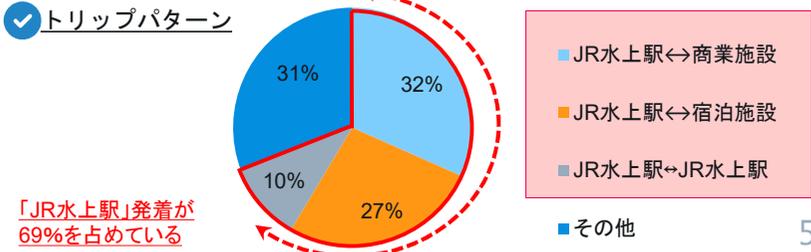
ポート別で貸出と返却の回数を見ると、5つのポートで貸出場所と別のポートに返却されている回数が多い。

また、全トリップ数のうち69%が「JR水上駅」を発着地とした利用であり、公共交通機関の補完機能を果たしていると考えられる。

ポート別 貸出返却回数



トリップパターン

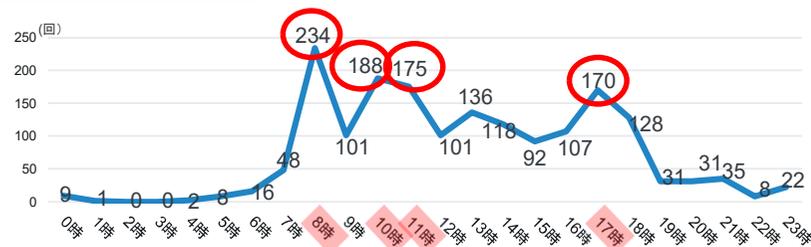


2 利用状況

2-4 時間帯別利用状況

貸出回数を時間帯別に見ると、平日休日ともに「10時～13時」の利用が多く、観光や周遊目的の利用が多いと推測される。
また平日は「8時」と「17時」の利用も多く、通勤利用も多いと考えられる。

平日の時間帯別利用回数



休日の時間帯別利用回数



2-5 利用時間の推移

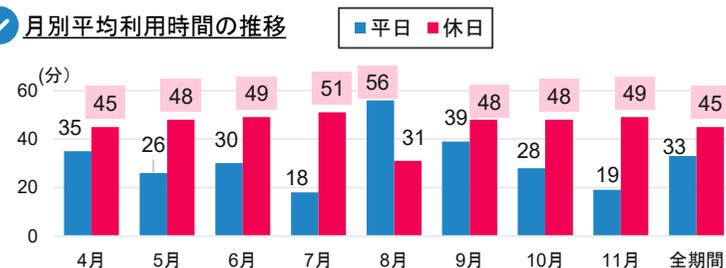
平均利用時間は38分02秒であり、月額プラン会員を除くと55分05秒であった。月額プラン導入の影響もあり、平日休日ともに30分以内の利用が多く、通勤や日常の移動手段としての利用が増加傾向にあると推測される。

平日と休日の利用状況を比べると、休日が平日の利用時間を上回っている。平日と休日の利用者では、利用者の属性や目的が異なることが考えられる。

利用時間の構成比

	利用時間			構成比		
	平日	休日	計	平日	休日	計
30分以内	1,394	969	2,363	79%	70%	75%
30分以上	367	415	782	21%	30%	25%
計	1,761	1,384	3,145	100%	100%	100%

月別平均利用時間の推移



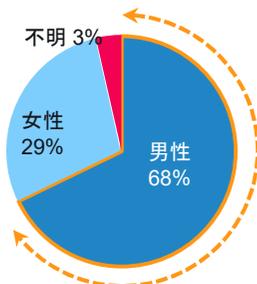
3 利用状況（月額プラン）

3-1 月額プラン加入状況

令和6年度より新たに開始した月額プランの加入者数は28名（累計登録月数114回）であった。加入者を男女別で見ると男性が68%を占めており、全体の利用状況（男性:72%）と大きな差はなかった。

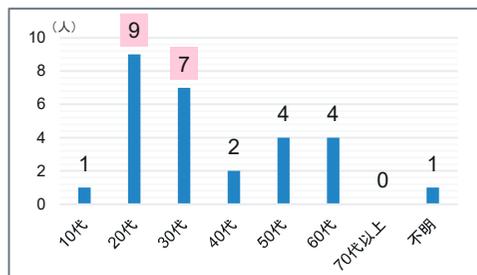
年齢別の加入者数では20代および30代の加入が多く、若年層の月額プラン利用が目立つ結果となった。また、平均利用時間は13分08秒であり、通勤や日常の移動手段としての利用が多いと推測される。

加入者の性別



68%が男性

年齢別加入者数



3-2 平日・休日別利用状況

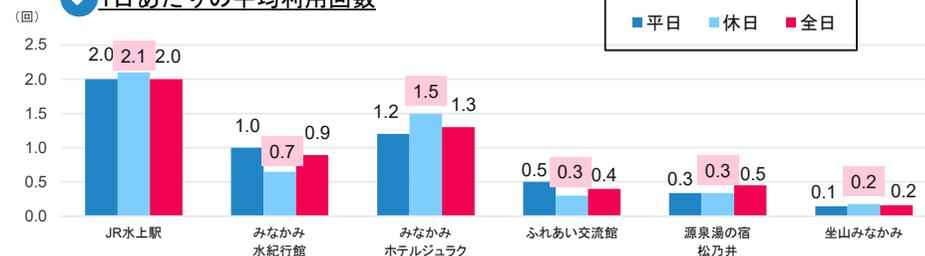
月額プランの利用回数は合計1,278回であり、全体の利用回数の41%を占めた。利用頻度については偏りがあり、1人で300回ほど利用されているケースもあった。

利用実績を日別およびサイクルポート別にみると、平日と休日の平均利用回数に大きな差はなかった。

平日・休日別 1日あたりの利用回数

	日数 (日)	総利用回数 (回)	日平均利用回数 (回/日)
平日	165	879	5.3
休日	79	399	5.1
全日	244	1,278	5.2

1日あたりの平均利用回数

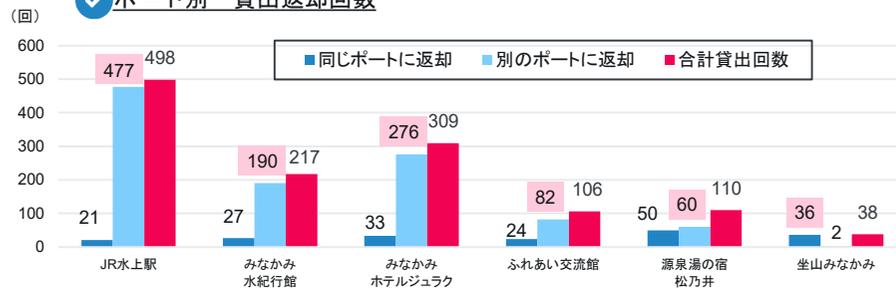


3 利用状況（月額プラン）

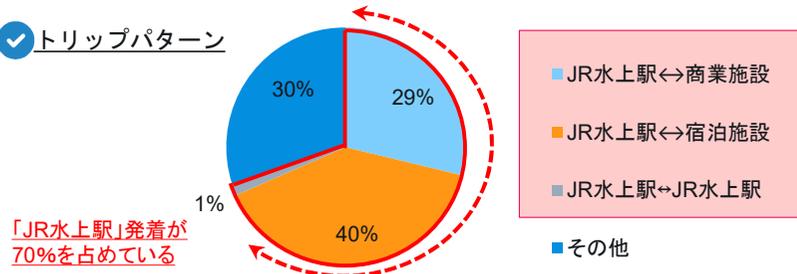
3-3 エリア別利用回数

ポート別で貸出と返却の回数を見ると、5つのポートで貸出場所と別のポートに返却されている回数が多く、全体利用と比較し別のポートに返却している割合が非常に高い。
 また、全トリップ数のうち70%が「JR水上駅」を発着地とした利用であり、通勤利用等が多いと考えられる。

✓ ポート別 貸出返却回数



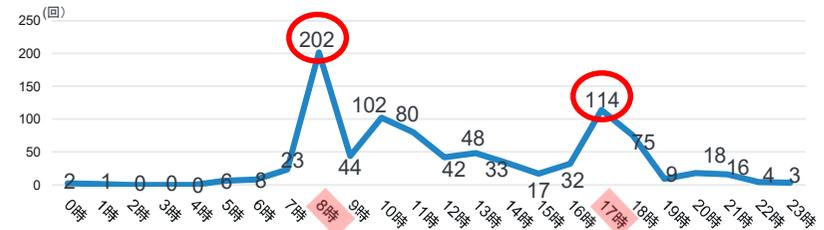
✓ トリップパターン



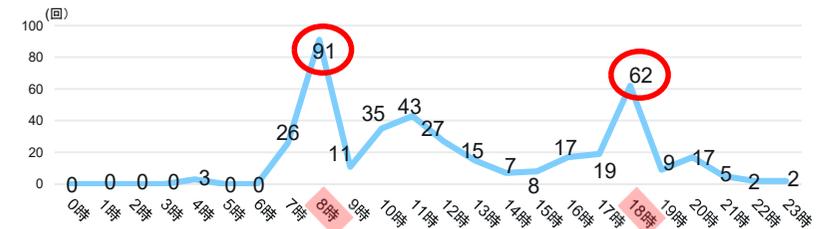
3-4 時間帯別利用状況

貸出回数を時間帯別に見ると、平日休日ともに朝夕の利用が最も多く、通勤利用が多いと推測される。
 また日中の利用も一定数あり、買い物など日常利用も多いと考えられる。

✓ 平日の時間帯別利用回数



✓ 休日の時間帯別利用回数



4 GPSロガー経路分析

4-1 分析結果

GW・夏休み・紅葉シーズン（計48日間、総トリップ数667回）を対象に経路分析を実施したところ、店舗等への立ち寄り回数は湯原・川上エリアが最も多く53.9%。次いで鹿野沢エリアで12.7%、小日向・高日向エリアで12.5%となった。湯原・川上エリアを中心に利用されており、遠方になるほど立ち寄り回数は減少傾向にある。

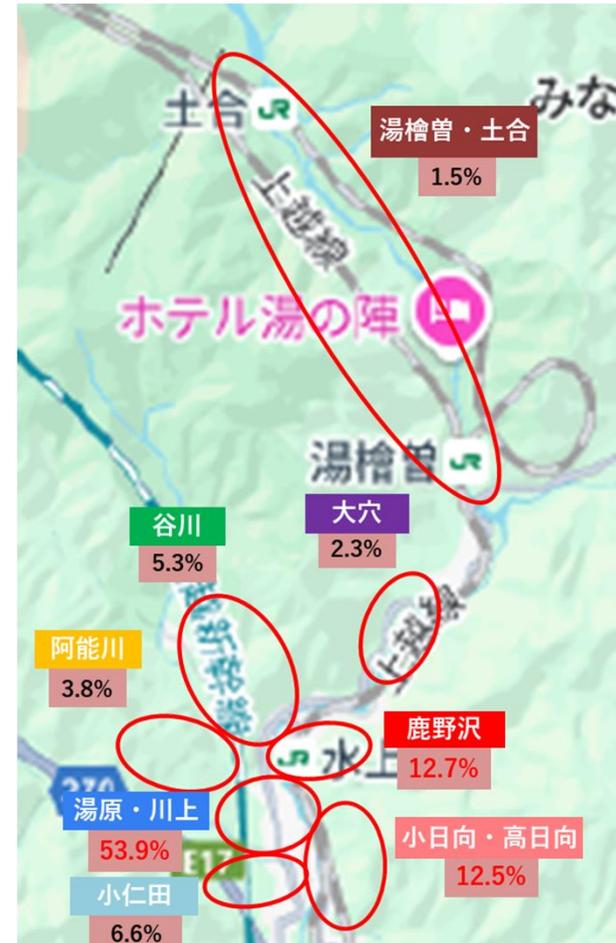
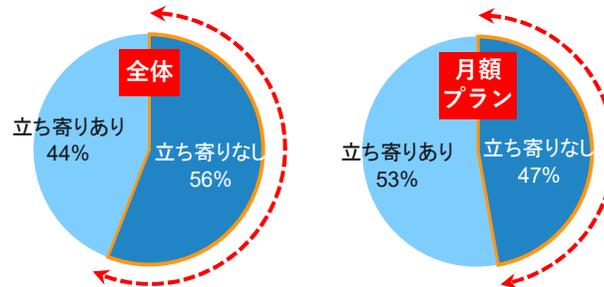
1回あたりの平均走行距離は2.81kmであり、月額プラン会員を除くと3.45km、月額プラン会員のみだと1.38kmという結果となった。月額プランは通勤や日常の移動手段としての利用が多いと推測される。

また、店舗等への立ち寄り状況については、どこにも立ち寄らなかった移動56%であり、月額プラン会員を除いても47%が立ち寄りがない結果となった。

1回あたりの平均走行距離

	平均走行距離 (km)
一般	3.45
月額プラン	1.38
全体	2.81

立ち寄り状況



5 実証実験 総括

5-1 実証実験の評価

【利用実態】

4年目の実証実験であったが、利用開始から順調に会員数を伸ばし、1日あたり約12.9回の利用があった。

今年度より利用料金を値上げしたにも関わらず利用が伸びていることから、利用者に好評のサービスであったといえる。

【月額プラン】

今年度より新たにスタートした月額プランは28名の方が加入し、合計1,278回の利用があった。

通勤や日常の移動手段として利用したい地元住民のニーズに即したサービスであったと考えられる。

【公共交通の機能補完の役割】

利用回数をポート別に比較すると、「JR水上駅」を発着地とする利用が69%を占めており、駅から目的地までの移動手段として公共交通の機能補完の役割を果たしたと考えられる。

【経路分析】

貸出ポートから寄り道せずに目的地へ向かう移動が約半数を占めていることから、地域内を周遊させ、地域にお金が落ちるような仕組みが必要である。

5-2 今後の課題と方向性

【利用実績】

コロナ禍が収まってきたこともあり、平日・休日ともに多くの利用があった。今後継続した事業展開をしていくためには、利用回数や利用時間、店舗等への立ち寄り回数をさらに伸ばしていく必要がある。「おすすめサイクリングコースの設定」など、とくに観光客へのアプローチを推進していく必要があると考える。

【車体の入れ替え】

車体導入から約5年ほどが経過しており、サビ・汚れなどが目立ってきている。今年度より車体の入れ替えを数台ずつ実施しており、シェアサイクルの安全な運行のため継続して定期的な入れ替えを進めていく。

【廃墟再生プロジェクトとの関連性】

令和8年度中の開業を目指している、旧「一葉亭」敷地の再生事業にあたり、そこを基点とした温泉街周遊手段の1つとしてシェアサイクルが有効であると考えられる。

本プロジェクトと密接に連携を取りながら、シェアサイクルの本格導入に向けた検討を進めていきたい。